

令和5年4月23日執行 宇多津町議会議員選挙 候補者選挙公報

宇多津町選挙管理委員会



みんなの当たり前にとことん向き合う
専門知識や経験を活かし町政に取り組みます。

医療・福祉の地域課題を解決

現場の高齢者福祉に携わり15年。これまで県内病院にて医療ソーシャルワーカー、香川短大で介護福祉士養成の教員などの経験を活かし課題解決に取り組みます。

教育・保育現場の困りごとを改善へ

二児（小学校・こども園）の父として子育て世代のリアルな声を議会に届けます。また香川短大教員の経験を活かし、教育の質向上に取り組みます。

みんなにやさしいデジタル化

ペーパー文化を維持しつつ、段階的・戦略的にデジタルシステムを導入し、住民サービスの効率化とデジタル社会の体制をサポートします。

防災・住民主体のまちづくり

現在、香川県災害派遣福祉チーム(DWAT)に所属。被災地支援や防災士としての視点で、現実的な防災訓練や災害に備え地域防災の強化に取り組みます。

田村のキホンの考え

政治姿勢・大切にしている意識

- ハコモノでなくソフトの質を高める提案や政策重視
- 専門知識のある機関や部署と情報交換やアドバイスを求め、常に研鑽
- 若い世代の地域活動の参加や後進育成を意識して活動
- 1円もごまかさな政治活動
- 警報など災害が予測される場合は、町内に滞在する危機管理

30年先の宇多津に責任を持つ政策を
政策の詳細はここからご覧ください
<http://www.u-tam.jp/>



香川県介護福祉士会推薦 / 日本車椅子ハンドボール連盟推薦
田村充
宇多津町出身
34歳



宮本たかし

古里 うたづへの想い

【新都市地域】
四国水族館が開館したことで、新都市の活性化の核ができました。官民が協力し、近隣自治体とも協力し、集客力のある施設を誘致する、まちづくりが早急に必要です。住民みなさまと一緒に、活力があり賑わいのあるまちづくりを進めてまいります。

【古街地域】
急速に進む高齢化は、宇多津町も例外ではありません。あみのうら世代間交流センターを核に、空き家などを活用し、いつでも安心して集まれ、住み慣れた地域で自立した生活できる場所を作り、お年寄りの方がいつまでも元気で生き生きと暮らせるまちづくりが早急に必要です。住民みなさまと一緒に、楽しく暮らせるまちづくりを進めてまいります。

【南部地域】
長年の施策だった南部地域に、南部すくすくスクエアが開設いたしました。この施設を核に、あと数箇所の公園・数箇所の子どもや、お年寄りの方が利用できる施設を設置し、道路の新設・改修を進め、定住して子育てできるように、更なる教育の充実や教育環境の整備、子育て支援、新築住宅の補助等を進めるまちづくりが早急に必要です。住民みなさまと一緒に、子育てがしやすいまちづくりを進めてまいります。

議会人として只管、真直ぐ直向きに古里うたづと共に歩むことをお誓いいたします。
今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

“くらし一番”の宇多津町へ

～若者に希望を シニアに安心を～ 願い実現にがんばります

年金6万円なのに
電気代が4万円…

★奨学金返済の支援制度
★18才まで医療費ついに無料

「暮らしにくい」こんな悲鳴があがっています。自治体の役割は「住民福祉の向上」。物価の上昇で大変な今、町政に求められているのは、しっかり住民のくらしに寄りそい支えることです。
かんでよしひろは“くらし一番の宇多津町”をみなさんとめざします。

「やったね!」
神出さんが18才まで医療費無料に議会でご質問したり、街頭で訴えているのを知っていました。「早くこうなってほしい」と思っていました。4月から宇多津町でもできると聞いて大喜び!うちの子どもの一人は該当します。次は給食費の無償化ですね。がんばって! 高校生の母より

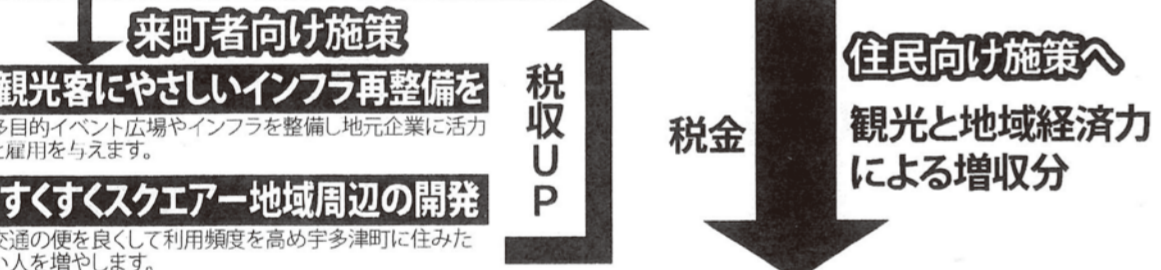
- 水道光熱費への補助を
- 学校給食の無償化
- コミュニティバス一改良・充実を

～戦争でなく、平和の準備を～ 日本共産党



よしひろ
神出佳宏
33歳
プロフィール
1989年平成元年11月1日生まれ。高知大学卒業。介護士として働きながら学び、介護福祉士・理学療法士の免許を取得。2019年宇多津町議会議員に初当選。総務建設常任委員会副委員長。趣味は車のめぐり

観光事業に活力を、誰もが最幸に暮らせる未来のために!
観光事業と都市計画を再検討し地域経済力をUPし、安定した財源を確保
～新時代を迎える宇多津町のまちづくりを短期、中期、長期ビジョンを明確にしよう～



子ども対策	高齢者対策
<p>子ども指導者の最先端講習会開催を提案 最新教育方法、スポーツや音楽の最先端有識者を迎えて講習会を開催し、エキスパートな指導者に指導してまいります。</p> <p>ステップUP子ども防災講習会開催を提案 ボイスカウト形式の指導者を迎え1年生から毎年段階を踏まえた防災教育を提案します。</p> <p>給食費の見直し、無料化を提案 給食費を無償化にするのか? 余分に¥1,000程度支払い、保護者として食育提言を行う方が良いのか一緒に考え提案いたします!</p> <p>ランドセルからリュックへ、配布を提案 重く高価なランドセルより、軽くて丈夫なリュックを宇多津町から全児童に無料配布ができるよう提案します。</p> <p>幼児保育園のオムツ対策を提案 幼児保育園の保護者負担のオムツの持参・持帰りの負担を無くすように調査研究し町政に提案致します。</p>	<p>バリアフリー工事に交付金支給を提案 段差解消バリアフリー工事を行う家庭が宇多津町の施工業者に発生した場合に上限を決めて工事費の半数交付できるように提案してまいります。</p> <p>高齢者に優しい対策を 現状に見合った介護保険料の見直しを提案し、シニア世代の方々にも安心して生活できるように努めます。</p> <p>シニア大学、小学生交流教育を提案 シニアの方々も子ども達と共に通学し、余剰教室等でPC、スマホ、SNSなど勉強し、世代間交流として宇多津町の歴史、農業体験等子ども達と共に自然と交流できる場を提供したいと提案してまいります。</p>



みやもと
宮本あつお

強い地元愛で 宇多津町に明るい未来を!

- 高齢者などの見守りネットワークの拡充
見守りは支え合う「互助」。困った時に遠慮なく助けを求めよう地域社会を作っていくために。
- 一人にしない子育て・介護
誰ひとり孤立しない地域共生社会を実現するため必要な仕組みを住民目線で考えます。
- 健康長寿社会の発展
生きがいを持てる生涯スポーツ・ボランティア活動。気軽に集え、無理なく楽しく通い続け、自由に参加できる充実（高齢者サロン）の居場所づくりをめざします。
- 認定こども園の設立
認定こども園に通ってれば、慣れ親しんだ園や保育士、仲良くなった友達と離れ離れになることもありません。
- 子どもの笑顔を地域で守る
子どもは家庭にはもちろん、地域・社会の宝であり、未来を担う希望です。
- 行政サービスの向上
ワンストップ（ひとつの窓口）の再開を。各種手続きにおける窓口をひとつに集約できれば満足向上も期待されます。
- 古き町家・伝統文化の保護
旧町内・新都市との交流を深め、古き町家と伝統文化や寺のまち宇多津をアピールしていきます。



だいごく
大黒かずや
六十五才

小さな声を大きな政策へ
あなたの声を未来につなげる! 女性の目線を町政につなげる!

水本はめざします!
●安全、安心な町づくり
●子育てしやすい町づくり
●活力と魅力にあふれる町づくり

\\ 水本の主な実績 \\	\\ 公明党の主な実績 \\
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所となる体育館にエアコン設置 ・女性の生理用品の無償配布 ・交流センター駐輪場に屋根設置 ・災害に対する防災行動計画の導入 ・ゼロカーボンシティ宣言の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント第2弾で2万円を支給 ・出産育児一時金の増額を達成 ・電気・ガス代の負担軽減を実現 ・地域の防災・減災対策の整備促進 ・白内障手術の保険適用範囲の拡大

<プロフィール>
●1957年3月3日生(66歳) ●公明党宇多津支部長
●福島県立会津女子高校卒業 ●資格/防災士
●2019年町議会議員初当選 ●特技/手話



みずもと
水本ふみ子
公明党公認

生き甲斐を持って 暮らせる町に

- 子供から高齢者まで
安心して生活を送れる町に!
- 住民の声を町政に届けます!
- 宇多津の未来へ
皆様の期待に応えます!

※ゼロカーボンシティ宣言をしている宇多津町に準じて、選挙カーを時間短縮いたします。



浜中やすお

次の改革を推し進めます

1. 行政・財政の見直し+改善
- ↓
2. 赤ちゃんから全ての健康市民の拡大
- ↓
3. まちの健康増進=医療費・介護費など抑制
- ↓
4. 財政負担の軽減・安定化
- ↓
5. 住民に還元=生活コスト抑制

物価上昇の時だから
生活コスト抑制の政策



井上 じゅんじ

町民が元気で幸せに暮らせるように



だいまつ
大松 きじろう
元町議会議長

- 【実績】
- 宇多津小学校のプールの改修
 - 国の標準冊数より不足していた学校図書充実
 - 認知症対策としての「脳の健康教室」の実施
 - 職員の駐車を他所に移し、役場の駐車台数を確保
 - 国民健康保険証のカード化
 - 未収金対策としての「債権管理条例」の制定
 - 現状に合った「子ども SOS」の見直し
 - 認知症、位置情報探索システムの初期費用の一部助成
- (抜粋)

- 【プロフィール】
- 昭和27年生まれ
 - 県立丸亀高等学校卒業
 - 東京理科大学理工学部卒業
 - 元宇多津小学校PTA会長

- 南部地区の街並み形成と道路整備、東部地区の住民交流を図ります。
- 18歳までの医療費の無料化を実現。出産祝い金の増額も実現します。
- 高齢者の生涯学習の拡充、終活の相談支援体制の連携強化を図ります。
- 科学・ソーシャルスキル教育の充実と学校図書館の整備を図ります。
- 公園が多くの人に活用されるように、改善や整備を推進します。

宇多津町を
もっと子育てのまちに
もっと住みやすいまちに

私も応援しています。



国民民主党
代表 玉木 雄一郎

安心して子どもを育てられるまち

- 第二子以降の保育料完全無料化
- 産前産後サポートの充実
- 病児保育の拡充
- 学童保育の再整備

ひとりひとりに合った教育を受けられるまち

- きめ細かい学習サポート体制
- 教育にかかわる人材の育成
- 教育現場でのICT機器の活用促進

つながりを感じいつまでも住んでいたいまち

- マイカー以外の移動手段の確保
- 町民との積極的な意見交換
- 文化の保護と継承

1994年(平成6年)生まれ 附属坂出中学校、丸亀高校出身
大学を卒業しスミシングインストラクターとして働いた後、結婚を機に転職。
外資系ヘルスケア企業で食事・運動・メンタルケアなど様々な側面から健康づくりを支援する。
(資格) ● 栄養士 ● フードスペシャリスト ● 中学校教員免許(家庭科) ● 健康運動指導士



国民民主党公認 2児の母
西本 ゆき 28歳

うたづの元気を明日につなげます

- 福祉の充実**
健康に暮らすための検診率の向上を目指し、障がい者の自立や高齢者の生きがいづくりを応援します。
- 子育て支援**
長年のボランティア経験を活かし、妊娠・出産から育児・教育支援など安心して子育てできる環境を提供します。
- 歴史を活かす**
歴史あるうたづの街並みを残し、歴史財産や資料を次世代に繋ぎ、町家や空き家の利活用を推進します。
- 町の安心安全**
災害に強いまちづくりのため、防災・減災を推進し、安心安全のまちづくりとコミュニティ作りをサポートします。

これからも女性・母親・主婦の視点を活かして、さらに「住み心地の良い宇多津町」を目指してまいります



西本 ゆき

笑顔と元気で希望の町に!



子どもの明るい未来づくり
子育て環境の整備と支援策の充実
魅力あふれる町づくりの実現
充実した福祉政策の提案
地域・行政が連携した町づくり
災害に強い町づくり

- 生年月日 昭和41年9月6日(56)
- 経歴 日本空手道神龍武心館館長(7段)
- 香川県模範空手道連盟会長
- (一社)全日本模範空手道連盟副会長
- (二社)青少年健全育成協議会理事長
- 児童心理カウンセラー
- 不登校対応専門カウンセラー
- 社会福祉法人四恩の里亀山学園空手教室講師



私もやなぐちきんごさんを応援しています。国民民主党代表 衆議院議員 玉木 雄一郎
ぜひ皆様の力をお貸し下さい。



住みたい町から 住んで良かった町へ

- 子ども・高齢者を重点とする政策を推進**
生活しやすい環境づくりに向けて、子ども・高齢者の視点を大切に取り組みます。
- 飲食とモノづくり産業を応援!**
「おもてなし」の王道である食とモノづくりは町内はもちろん、県外からのお客様にも満足していただけるための重要な存在です。
- 女性の活躍推進**
次世代を担う子どもと、その家庭を社会全体で支えられる様、必要な方への支援を行い、女性が積極的に社会進出ができる町づくりに取り組みます。
- 必ず来る!災害に備える町!**
自主防災活動を通じて一人ひとりの防災意識の向上を図り研修や訓練を行うことで安心して暮らせる町を目指します。
- 目指すのは全国が目指す街!!**
幸福度ランキングNo1を目指して住みたい町から住んで良かった町へ誇れる町づくりに取り組みます。

みんなで創る宇多津町!



ふしもと
藤本 かずよし

1 給食費無償化へ

限られた予算の中で教育へ予算比率を上げていく予算提案をしていく。

2 起業家を育成する町へ

起業しやすい環境等を整え起業家が育つ町を提案をしていく。

3 鴨田川改修工事

豪雨による鴨田川の災害を防ぐため早急な改修工事を進めていく。

4 野生動物への餌やり禁止条例

殺処分の原因でもある餌やりを禁止する町条例を作り殺処分される命を減らす提案をしていく。

日本維新の会 38歳

町民のみなさまのご支持により、8年間町政を任せさせていただきました。再び町民のみなさまのご支持により町政をさせていただけたらとお願い申し上げます。

プロフィール
1984年7月17日生まれ
学歴 宇多津小学校卒業
宇多津中学校卒業
香川県立坂出商業高等学校卒業
フェリス愛犬科学専門学校卒業
職歴 専門学校卒業後 わんちゃんの床屋 Only1 起業 現在 Delightに屋号変更



みなと かつす
紫

みなさんの生活をよりよいものに

今しかない。婚活、妊活は今しかない。25~35歳だけが最適な出産年齢というわけでもない。
南海トラフ地震が10年先に迫り来る中で異次元の少子化対策だけでなく年取200万以下で暮らさなければいけない家なし世帯の人たちにはガソリンも食事券も家賃補助も欠かせない。
ウクライナ侵攻で始まった物価上昇でみんなが苦しんでいるが外国人実習生の死産が事件化する中で、女性のためには、緊急避妊薬を処方箋無しに入手できる日本に変えたい。
また、家屋倒壊から命を守る27万5千円の耐震シェルター設置には、県住宅課から上限20万円の補助が出る。(四国新聞3月11日)
浸水後に川沿いに住む人や、液状化不安の新宇多津で暮らす人たちのため、災害復興住宅を前もって異次元多数用意したい。香川を訪れる外国人旅行者をロングステイできる宿舎とサービスで対応することが消費金額増加、滞在日数増加に結びつく。新たな財源を見出すこともまた香川のステータス確立につながる。
とにかくコロナの一年でしたと賀状に書いて来た友人の医師が故くなった。若い三浦春馬さん、美しかった芦名星さんにもっと生きてほしかった。
宇多津の女性は、香川の女性は地球を彩るこの世の花であることを再認識しました。
みんな愛しています。だからわかって下さい。



まつやま
松山 かつす
横浜市立大学 医学部 卒